4 単元構造図

単元の目標

A（2）概数に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。

ア次のような知識及び技能を身に付けること。

（ア）概数が用いられる場合について身に付けること。

（イ）四捨五入について知ること。

（ウ）目的に応じて四則計算の結果の見積もりをすること。

イ次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア）日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に活かすこと。

↑

第8時　まとめの練習

基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。

↑

第6時　概数の使い方（棒グラフ）

棒グラフの１目盛りの大きさをもとに話し合う活動を通して、資料の数量を表す適切な概数を考えることができる。〔思考力・判断力・表現力〕

↔

第7時　概数の使い方（場面に合わせた見積もりの方法）

問題の場面には、どの見積もりの方法が最も適しているかを話し合う活動を通して、場面に応じて切り上げや切り捨てなどの適切な処理をし、見積もりをすることができる。〔思考力・判断力・表現力〕

↑

第4時　概数の計算

大きな数の整数の和や差を、概数を用いて計算し、見積もることができる。〔技能〕

↔

第5時　概数の計算

大きな数の整数の積や商を、概数を用いて計算し、見積もることができる。〔技能〕

↑

第2時第3時　概数

四捨五入・切り上げ・切り捨て・以上・以下・未満の意味とその方法を知る。〔知識・理解〕

↑

第1時　概数

大きな数の資料を絵グラフに表すことを通して、概数の必要性や「概数」という用語の意味や表し方について理解する。〔知識・理解〕

↑

本単元までに身に付けている力

・億・兆の位までの数の命数法、記数法を知る。

・億・兆を単位とした加法、減法ができる。

・和・差の用語と意味を知る。